

# 協会だより

第34号

平成29年2月1日発行

福岡県立学校事務職員協会

## 会長の年頭挨拶

### 「凡事徹底」

新年を迎え、会員の皆様におかれましては新たな決意を持たれ希望に満ちてあることと存じます。本会の活動に御支援と御協力をいただき感謝申し上げます。

会の目的達成するために、様々な事業を行っています。研修について振り返ってみますと、全ての研修を企画立案から事前準備・当日の運営まで行うため、かなりの時間と労力を要します。新規採用職員研修についても継続的な研修にするため協議を重ねたり、先輩職員も育てる企画が定着しつつあります。関わってくださる役員や研修委員の皆さんはやりがいや達成感を思いながら一生懸命取り組んであることと思います。受講された皆さんにとって大変有意義な研修だと確信しています。また、研究部等におきましても熱心に活動していただき、仕事への取組方や人との交流等仕事の幅が広がっているものと考えます。

さて、平成28年11月25日(金)に「国立オリンピック記念青少年総合センター」で開催されました「全国協会理事会」の報告をいたします。また、同日、全国協会主催の「中堅事務職員研修会」も開催され本県から4名が参加しました。この協会だよりで報告を掲載しています。

#### 1 全国大会について

第69回徳島大会は阿波踊りの熱気の中、事務職員の資質向上と学校事務の充実発展のための参加型の大会であり、その報告があった。(838名参加)。

第70回 石川大会は平成29年7月26日(水)～28日(金)に、「ひゃくまんのかがやき発見 い～じ 石川」をキャッチフレーズとして金沢市において開催される。

#### 2 70周年記念事業について

平成29年度は全国協会創立70周年を迎える。石川大会にて記念式典を実施し、記念誌の発行が予定されている。

#### 3 熊本地震義援金について

九州支部長から、全国の会員の皆様からいただいた187万円を超える義援金を熊本県に送金したことが報告され、全国の強い絆を思ったとのことであった。

熊本県協会長から、感謝の言葉が伝えられ、全国の会員にお礼状が届けられた。

#### 4 徳島大会優秀研究発表者の表彰について

最優秀に準ずるものとして、熊本県と北海道の研究発表2本に決定した。

#### 5 東京都協会の活動休止について

全国的に厳しい状況にある。東京都は休会ではなく活動休止扱いとなる旨説明があった。

#### 6 昨年の「チーム学校」における答申について

カリキュラム・マネジメントの実現にあたり「学校予算や施設管理等に精通した事務職員が大きな力を発揮することが期待されている。」と示されており、今回の学習指導要領の改訂の理念実現に向けて「チーム学校」として学校事務職員の役割が重要であると考えられる。

#### 7 全国協会秋田会長から

学校事務職員に必要なのは、単なる机上の仕事だけでなく学校全体の状況や問題を把握して長期的な視点で考えることで、これが学校事務職員の専門性である。人とのつながりが最大の研修で有り、財産である。

本校に「凡事徹底」の書が掲げられています。株式会社イエローハット創業者の鍵山秀三郎氏の言葉です。「ごく普通の当たり前のことを徹底して行うこと。徹底的にやり続けることで大きな成果を出すことができる。」という意味です。目標設定を行い、モチベーションを維持し続けることができれば結果がついてくるのだそうです。受験生が日々努力を惜しまずコツコツ学習すること、部活動生が日々の練習を極めること、そうすれば自ずと結果は出るのだとエールを送っています。毎日の玄関掃除が心地よく、よいスタートができます。その書の前で心が落ち着きます。何か特別なことでなくても、整理整頓は仕事の能率と効果を高め、清掃清潔は仕事の質を良くします。私達の前には未来を担う生徒達があります。生徒達のために手を抜かず心を入れて業務に取り組みたいものです。

心理学者アドラーは「人生には三つの大きな課題がある。」と言っています。それは「仕事」「交友」「愛」でこの三つが順調であれば人生もうまくいくのだそうです。まさに「ワークライフバランス」だと思います。仕事にしっかり向き合い、適切な交友関係や自分の時間を持ち、家族を大切にすることです。平成29年度九州大会において、筑豊地区事務研究委員会がこのテーマで発表します。発表に向けて更なる研究・まとめ・準備をよろしくお願いいたします。研究発表を大いに期待しています。

今後とも会員の皆様の積極的な御支援と御協力をお願い申し上げます。

(会長 満生 順子)

## 各地区活動報告

### ●北九州地区 (会長 木村 稔彦)

北九州地区では、業務の改善について研究を行い、また自発的研修を行うことにより、学校間の連携と事務職員の資質、職務遂行能力の向上を図ることを目的として活動しています。

本年度の事業は、「実務研修会」・「地区別研修会」・「パソコン研修会」・「新規採用事務職員等研修会」を実施しています。さらに、活動の充実を図るため、今年度も北九州地区県立学校事務次長・主査会共催による主事・主任主事を対象とした「次世代を担う若者育成塾」を実施しました。これら協会の活動に際しましては、今後も、会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 【主な研修会の概要】

「実務研修会」は、教職員課 長岡事務主査から「監査での給与事務指摘・指導事項について」、小倉商業高校 柳本事務長、ひびき高校 出水事務次長、八幡工業高校 瀧上事務主査から「監査結果(支出・旅費・収入・財産)の問題点の見直しと学校間での事務処理の統一について」、監査での指導等の実例を挙げ、間違った箇所や理由をひとつずつ検証し、規則や通知を確認しながら、詳しく説明をして頂きました。日常業務を遂行する上で大変参考になる実務的な内容で、有意義な研修会となりました。



県教育委員会との共催による「地区別研修会」では、前半は、「今の事務職員の皆さんに伝えたいこと」との演題で、講師の福岡 ECO 動物海洋専門学校 黒見義正校長から講演して頂きました。本庁にて教育企画部長までご経験された視点から、現在の高校受験や採用試験等福岡県の現状、仕事に取り組む姿勢を講演して頂きました。後半は、主事から事務長まで、階層を問わず6つの班を構成し、3つのテーマ(若年事務職員への業務継承、不祥事防止の意識向上、学校窓口としての事務室の在り方)から、あらかじめ割り振られたテーマ1つに

ついて班別に討議を行いました。その後、各班の発表者が討議内容を発表し、世代を超えた交流と学校間の連携及び事務職員としての資質向上を図ることができました。

「パソコン研修会」は、県庁 OA ルームを会場に実施しました。ワードで作成、エクセルデータのワードでの利用方法、また、エクセルの関数活用や給与関係書類を利用した数式作成等実務に役立つ研修を目標に研修を実施しました。インストラクターによる丁寧で分かりやすい指導で、充実した研修を実施することができました。

「新規採用事務職員等研修会」の前期(1日)は、午前に「事務職員の基本を学ぶ」と題し、事務職員の基本である接遇や電話対応、倫理観について理事から講義があり、その後、新採職員の3分自己紹介を行いました。午後から「君たちに言っておきたいこと」と題しての事務長講話後、「実務の基本を学ぶ」と題し収入・支出・旅費の概略を理事が講義しました。後期は、アクティブラーニングを活用し、新採職員各々が行っている日々の業務から1つ抜粋し、業務の基本的な流れを一人15分程で発表、その後課題や疑問点を新採同士や理事と一緒に考え学びました。午後から「次世代を担う若者育成塾」を実施し、大分高校廣瀬茂教諭から「熱き男の生きる道」という演題で講演して頂きました。野球部の顧問として、甲子園に2度出場させた気迫の講演に、熱い思いを感じました。



#### 【各研究委員会の活動状況】

「事務研究委員会」では、事務職員に関連する様々な案件等を各自が持ち寄り、それを研究討議しています。次回の発表まで時間が十分にあるため、情報交換や協議等を行い、幅広く研究を進めていきたいと思っています。

「パソコン研究委員会」ではエクセル、ワードについて研修会を実施しました。日常業務で役立つ実践的な内容を目指しています。今後はマイクロソフトオフィスの更新等を見据え、ワード2013等のソフトに対応した研修等を企画中です。また、会員の皆様の要望を取り入れ、誰もが参加できる研修を行うことを第一に考え活動していきます。今まで参加されたことのない方及び参加された方にも満足できる研修会を企画していきますので奮ってご参加ください。

#### ●福岡地区(会長 三宅 秀幸)

福岡地区では、研修主任の設置等により充実した組織とし、会員相互の連絡・調整をとりながら、会員の資質の向上を図り学校教育の発展に寄与することを目的として、研究と研修を行っています。特に、財務会計の適正な処理を重視して、学校間の連携、職員間の連携を大切にしながら点検や情報交換等の取組を実施しました。また、事務処理能力の向上と学校運営参画意識の向上を目指して、職員が一丸となって様々な業務を行うため、次の活動を行いました。

#### 【実務研修会】

平成28年9月28日(水) 博多青松高校 13:30～

- 1 講義「給与事務について」 講師 教職員課給与総務係 主任主事 大津 将実 氏
- 2 講義「旅費事務について」 講師 財務課予算係 主任主事 佐藤 道孝 氏

併せて、財務課課長補佐 太郎丸 仁 氏から「随時監査の結果について」結果報告いただきました。

#### 【監査対策点検】

同一地区内で点検者を選考して派遣依頼を行い、9月～12月に定期監査現地校(15校)に出向き点検を実施しました。

## 【初任者研修会】

採用1～3年目を対象とした研修会を開催し、市町村からの転入職員を含む26名が参加して実務研修等を実施しました。

〈第1回〉平成28年7月28日(木) 博多青松高校 13:00～

①研修計画 ②グループ討議「日常業務の問題点」 ③参事講話「仕事のススメ方」

④先輩職員(研修主任)講話「学校事務職員の仕事」

〈第2回〉平成28年10月28日(金) 博多青松高校 12:45～

①採用1年目職員による発表「学校PR」(6名)

②先輩職員(研修主任)講話「学校事務職員の仕事2」 ③グループ討議「学校事務職員と給料」

④先輩職員(事務次長)講話「教育予算について」 ⑤オリエンテーション・研究発表について

〈第3回〉平成29年1月20日(金) 博多青松高校 13:00～

①実務研究発表(2年目職員による発表14名、4グループ)

②実務自主研修・年間のまとめ(研修主任) ③講評(事務長会)

## 【3ブロック別研修会】

定期監査等の状況について、指導のポイントやその対応など内容の確認・検討を行い、疑問点についての意見交換・解決策の研究を通して情報の共有や事務スキルの向上を目的にブロック別研修会を実施しました。

①日時 平成28年12月21日(水) 東ブロック 場所 福岡高校

②日時 平成29年1月18日(水) 南ブロック 場所 福岡高等視覚特支

③日時 平成29年1月24日(火) 西ブロック 場所 修猷館高校

初めての実施であったが、お互いに顔見知りとなり活発な情報、意見の交換がなされました。

## 【事務研究委員会】

平成24年度から「施設管理と災害対応について」をテーマに研究を行い、事務室の視点に立った「危機管理マニュアル」作成を中心に一昨年度に九州(大分)大会で発表し一応の区切りはつけることができました。現在は危機管理マニュアルの更なる作成の研究を行っているところです。

## 【パソコン研修会】

Microsoft Officeの有効活用を図るためのエクセル2007のピボットテーブル等の研修を平成29年1月26日(木)に実施しました。また、パソコンに関するお役に立つ情報を送付します。

## 【地区別研修会】

平成28年9月23日(金) 福岡リーセントホテル 13:00～17:00 参加者48名

1 講話(13:30～14:20)

「障害者差別解消法について」

講師 福岡県教育庁教育振興部義務教育課

特別支援教育室 指導主事 荒木 宏之氏

(内容)

平成28年4月に施行された障害者差別解消法の内容について、学校における対応を中心にプロジェクターを使用して、解説がありました。

はじめに、この法律施行までの経緯に触れられ、概要等わかりやすく説明していただきました。障害を理由とする差別の一つは、「不当な差別的取扱い」であ



り、国・地方公共団体、そして民間事業者等も禁止されています。もう一つは、「合理的配慮の不提供」であり、障害者への合理的配慮を行うことについて、民間事業者には努力義務が課せられていますが、国・地方公共団体には法的義務が課せられており、この法律について、この研修を基に更に認識を深めることが必要であると説明がありました。

それから、「福岡県教育委員会職員対応要領について」、「学校教育分野におけるガイドライン」、「学校における対応」と続き、詳しく充実した講話をしていただきました。

「今後増えていく対応について共に考える、全てに対応することは不可能であるので、話し合い、納得できる形で合意形成していくことが必要」と今後の業務遂行に大変参考になるお言葉をいただきました。

## 2 講話 (14:30 ~ 15:15)

「良好な職場づくり～コミュニケーションについて～」

講師 公立学校共済組合「職場の健康づくり支援事業」

臨床心理士 川上 夏季 氏

(内容)

「職場と良好なコミュニケーション」、「より良い関係づくりに向けて」という内容でご講話いただきました。

まず、「コミュニケーションが良好であると言えるのは、どのような職場か？」との問いに各々考え、講師が参加者の中から抽出して意見を聞いたり、それを解説したり、説明を加えたりして、講話が始まりました。

「良好なコミュニケーションの形は多種多様、いずれにしても自分や周囲の円滑な業務遂行、より良い心身の健康に役立っている。」とのお話に納得させられました。

その後も会場に意見を求められることが多く、この研修内容に合致した親しみやすい形で講話が進みました。

また「より良い関係づくりに役立つもの」として、紹介された「Iメッセージ(私(I)を主語にして自分の気持ちや意思を伝える言い方、相手が受け取りやすく、心に残りやすい表現方法)」と「Youメッセージ(あなたが主語で、評価・叱責・説教・賞賛など伝えたいことに対し、相手の抵抗や反抗が生じやすい)」が印象に残りました。アンケートに、多くの参加者が「良かった」、「参考になった」等の感想を記されていました。

最後に、日頃から気配り・目配り・心配りをし、「コミュニケーション」に注目して、スキルとして身につけることが大切とお話しされ、まとめとなりました。

## 3 班別討議及び発表 (15:30 ~ 16:50)

「良好な職場づくり～コミュニケーションについて～」

(内容)

良好な職場づくりに向けた課題と対策について、6班に分かれて班別討議を行いました。講話後、講師の川上氏にも引き続き、指導・助言者として参加していただきました。

まず、各学校の現状と課題(問題点)及びその対策を各自が付箋紙に記入し、発表しながら模造紙に貼り付けました。その後、班内で討議を進めていく中で、主なものを3項目程度選び、討議結果を模造紙にまとめて発表を行い、最後に講師の感想や助言をいただいて終了しました。

「他校の現状・課題・意見を聞くことができ、参考になった」、「刺激を受けた」、「共通する問題点が認識できた」等の感想が多数寄せられ、大変有意義な班別討議となりました。



## ●筑後地区(会長 大場 昇子)

筑後地区では、会員相互の連絡・調整と会員の資質向上を図るために、次の研修会・研究活動を行いました。また、実務研修の一環として筑後地区県立学校事務長会との共催で、支部単位で監査現地校事前点検会議を実施しました。さらに、筑後地区5支部において支部研修会を行い、その後懇親会を開催し支部内会員の交流を図りました。

## 【実務研修会】

平成28年7月1日(金) 福岡県立大牟田北高等学校

- 1 講義 「給与事務について」  
講師 福岡県教育庁教育企画部教職員課給与総務係 主任主事 宮崎 亮氏
- 2 講義 「旅費事務について」  
講師 福岡県教育庁総務部財務課予算係 主任主事 佐藤 道孝氏

## 【地区別研修会】

平成28年8月26日(金) 福岡県教育庁北筑後教育事務所

- 1 講習  
講師 色と香り Ohimegulife 代表 田中 智子氏  
内容 「色を味方にして楽しく行きよう」
- 2 課題討議(問題提起・班別討議)  
テーマ 「学校の危機管理について」～学校が避難所になった場合の事務室の対応～  
講師 福岡県防災危機管理局 消防防災指導課 事務主査 古賀 光男氏  
(班別討議)
 

1 班司会者	小郡特別支援学校	参事補佐兼事務次長	野口 浩
2 班司会者	柳河特別支援学校	参事補佐兼事務次長	加藤 孝
3 班司会者	筑後特別支援学校	事務次長	持丸 直

## 【新規採用事務職員等研修会】

第1回 平成28年7月29日(金) 福岡県立八女工業高等学校

内容 参事講話、学校事務全般、接遇(マナー講座)、研究協議会、施設見学

第2回 平成28年10月27日(木) 福岡県立八女高等学校

内容 給与・人件費、出張と旅費、支出、収入、学事・諸証明

第3回 平成28年12月20日(火) 福岡県立明善高等学校

内容 パソコン演習、校長講話、福利厚生、体験発表、参事・事務長から「託す言葉」

今年度は、新規採用職員だけでなく、若手職員から事務長まで受講を希望する者が参加できるような研修会を計画しました。第1回研修会の午前は、新規採用職員のみを対象とした参事講話と事務長による学校事務についての講義を行いました。午後は、2・3年経年職員をリーダーとした新採職員との研究協議や工業高校実習棟の見学をしました。第2回の実技講座は、事務主査以上の中堅職員が各人の知識と工夫で講師を務めてくれました。第3回では、パソコン研究委員会によるパソコン演習や校長講話等、昨年度とは異なる講座等を企画しました。第1回と第3回の研修会終了後は、情報交換会を行いました。最終回の情報交換会は、新採職員が企画することを提案したところ立候補者があり、より有意義な会となりました。

## 【事務研究委員会】

今年度から新メンバーとなりました。6名の研究委員で現在、研究テーマを模索中です。年度内には、

アンケート調査等を基にテーマを決定し、研究を行う予定です。

**【パソコン研究委員会】**

新規採用者等研修会で MS Word と Excel の講義を行いました。PC を操作しながらの演習で、基本でありながら知られていない機能と操作にふれてもらいました。これをきっかけに少しばかりハイレベルな領域へ踏み出してもらえたらと思います。

メルマガ 23 号はワードの便利な機能、24 号は源泉徴収票を配信しました。情報委員会を通して全会員に配信しています。お役に立っていただければ幸いです。

お願い：テンプレート倉庫のファイルは遠慮なく使ってください。ただし、所属にコピーしてから入力してください。

**●筑豊地区 (会長 高瀬 吉次)**

筑豊地区は 16 校の学校で構成されており、学校教育活動の発展・充実に寄与することを目的として、会員の資質向上を図るために研修並びに研究を行っています。

今年度は新規採用職員 8 人を迎え、採用 2 年目・3 年目の職員を加えて、活発に新規採用職員等研修会を実施しました。併せて定時制課程事務職員研修会を新たに開催しました。

**【新規採用職員等研修会】**

(1) 第 1 回 平成 28 年 7 月 26 日 (火) 嘉穂東高等学校で開催

①新規採用職員スピーチ 12 人

学校紹介を含めての自己紹介

②実務研修 文書の基本・給与の基本・サービスの基本の 3 項目の事務について 3 年目の職員 3 名が講義しました。

③研修「ワークライフバランス」筑豊地区研究委員会による研究発表及び研修を行いました。

④グループ討議 2 班に分かれての意見交換

(2) 第 2 回 平成 28 年 11 月 4 日 (金) たがわ情報センターで開催

①パソコン研修会

講師 (株) クリエイティブジャパン 森口 綾香 氏

エクセル基礎・応用編

エクセルの入力規則や実用的な関数の使用方法、グラフ作成など広範囲に渡り学びました。

②意見交換会

日頃疑問に感じていること等を結論を出すことが目的ではなく、5 人～6 人のグループ 2 班で意見の交換を行い、今後に向けての参考としました。



(3) 第 3 回 平成 29 年 1 月 13 日 (金) イイヅカコミュニティセンターで開催

①実務研修 「共済組合事務について」

講師 公立学校共済組合福岡支部 給付係 主任主事 宮崎 慎之介 氏

福祉係 主任主事 赤木 佑圭 氏

②職場の健康づくり テーマ「ちゃんと眠れていますか？」

講師 (一財) 西日本産業衛生会 北九州産業衛生診療所 健康管理課長 保健師 水崎 結花 氏

## 【会計事務相互点検】

今年度の監査実施校に赴き監査期間内の諸帳簿の点検・確認を行いました。

- ・田川地区 平成28年9月8日(木) 東鷹高等学校
- ・就学奨励費全般 平成28年10月4日(火) 嘉穂特別支援学校
- ・嘉飯地区 平成28年10月5日(水) 嘉穂特別支援学校
- ・直鞍地区 平成28年11月2日(水) 鞍手竜徳高等学校  
11月9日(水) 鞍手高等学校  
11月11日(金) 直方高等学校

## 【会計実務研修会】

平成28年7月13日(水) 福岡県立嘉穂高等学校

## ①講義 「給与事務について」

講師 教職員課給与総務係 主任主事 藤野 光正 氏

\* 次の講義の前に財務課太郎丸課長補佐より随時監査等の結果についての話がありました。

## ②講義 「旅費事務について」

講師 財務課予算係 主任主事 佐藤 道孝 氏

## 【地区別研修会】

平成28年9月18日(金) パドトゥ・ル・コトブキ

## (1) 講演 「教育現場で勤務する行政職員の人権感覚を育む」

講師 福岡県立稲築志耕館高等学校 校長 本田 健吉 氏

人権にかかわりの深い職業に従事している者として、特定職業従事者としての自覚を持たなければならないこと、職場の環境作りにも配慮が必要なことや福岡県同和教育副読本「かがやき」高等学校用教材を通じて、人権感覚を行動に移すことが大事で、様々な場面において、人権尊重の観点から業務の点検を行って欲しいと述べられた。

## (2) 研究協議 「これからの事務職員に求められること」

発表者

福岡県立直方特別支援学校	主事	長下 陸
福岡県立東鷹高等学校	主事	江上 心太
福岡県立稲築志耕館高等学校	主任主事	小林 秀星
福岡県立鞍手竜徳高等学校	事務次長	堀田 浩美



これからの事務職員に求められることについて、「目標・根性」、「使命感・責任感」、「事務処理能力」、「情報の整理整頓と共有」等様々な角度からの基調発表があり、その後4つの班に分かれ班別協議を行った。後半からの発表は「個々の能力向上」「折衝力」「風通しの良い職場作り」「ワークライフバランス」というキーワードを用いた意見が多く報告された。

## 【定時制課程事務職員研修会】

今年度は6月1日(水)、8月16日(火)、11月15日(火)、1月17日(火)の4日間開催し、筑豊地区定時制課程4校の事務職員が一同に集まり、定時制事務の庶務全般について討議、意見交換を行いました。



## 各研究部報告

## ●事務改善委員会 (委員長 木下 賢司)

## 1 平成 28 年度の活動

前年度から事務改善委員会は、主に次のような活動を継続して行っています。

本委員会の方向性として求められている調査、研究、文書のうち、文書に焦点を当て活動を進めており、その内容は、「業務に関連する通知文書の収集、PDF 化及び保管を行い、会員向けのデジタルアーカイブズ(古文書館)を構築し、同時に保管する」というものです。

県からの通知文書を集約し、会員がいつでも閲覧できるようになれば、我々が日々の業務を行う上で効率化にもつながっていくと考えます。

対象となる文書ですが、すべての文書となると、収集分野、範囲、作業方法などで業務量が多大であることから、「教育関係者必携」、「県立学校事務提要」、「教育関係通達集」「校務運営に関する集録(教頭協会編集)」などに記載されている通知文書は対象外とし、これに記載されていないものを対象としました。

まず手始めに「県立学校事務提要」に根拠通知として本文右欄外に掲載されている県通知文書の中から、文書番号、タイトル等のみで文書の中身が掲載されていないものを紙ベースで収集し、電子データ化を図っていこうと考えております。

現在、事務提要に記載の文書タイトルを集約した一覧表を各編ごとに作成し、データ(紙、電子)の有無を確認中ですが、古い文書が容易に見つからず困難を窮めており、とりあえず今年度の目標として、収入編を完成すべく作業を進めているところです。

完成後は、県立学校事務提要を補完できるものとして、業務の一助となればと思っておりますので、是非本委員会へのご意見ご要望等を各地区の委員へお寄せください。また、我々の手元にない通知文書が多々ありますので、文書の提供等していただけると助かります。

今後とも本委員会へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 2 活動状況

- (1) 第 1 回 平成 28 年 9 月 2 日(金) 場所：光陵高等学校  
今年度活動の検討、今後の取り組み  
通知文書の収集分野、範囲・・・県立学校事務提要委員会との連携
- (2) 第 2 回 平成 29 年 1 月 18 日(水) 場所：新宮高等学校  
データ作成の進捗状況について  
検討及び資料収集の整理
- (3) 第 3 回 平成 29 年 3 月上旬(予定) 場所：福岡リーセントホテル  
電子データ収入編の最終確認

## ●事務提要委員会 (委員長 平尾 昌彦)

事務提要委員会は、今年度も提要 4 編の追録原稿作成、及び就学支援金等マニュアルの更新を行っております。なお発行は、29 年度当初を予定しております。

6 月 8 日、第 1 回県委員会を福岡リーセントホテルで行い、提要 4 編の地区別担当箇所、及び就学支援金等マニュアル追録の方針を決め、活動を始めました。

「提要 4 編」については、7 月・8 月、各地区別に精力的に原稿作りに取り組みました。

作業は各地区順調に進み、8 月 18 日、博多青松高校に 4 地区が原稿を持ち寄り、集約作業を行いました。今年は庶務編のマイナンバー関係、支出編の旅費(海外旅費)等に手こずりながらも、何とか無事に作業を終えることができました。

8月26日、博多青松高校にて追録財務課提出原稿の点検・作成を行い、その中でマイナンバー関係については再検討を行っています。

今後財務課予算係へ追録原稿のチェックを依頼し、財務課をはじめ、教育庁各課のご協力を得て点検作業を行っていただく予定にしております。

点検後、追録原稿を再チェックし、業者に追録原稿を送り、校正作業を経て本追録の発行となります。

「就学支援金等マニュアル」については、6月17日、香椎工業高校にてマニュアル作成の具体的な方針及び役割分担を決定しました。

6月27日、マニュアル作成について財務課学校予算係と事前協議を行いました。

8月18日、博多青松高校にてマニュアル作成の作業状況を確認し、今後はマニュアルの編成作業を行い、財務課学校予算係へ原稿点検を依頼する予定にしております。

「事務提要ライブラリー版」については、29年1月～3月にかけて全メンバーで修正に着手し、29年5月中には更新出来るよう頑張っていきます。

「文書分類表」の更新については、8月18日の第1回県委員会に於いて29年度版の原案を提示し、各学校の意見を集約している状況です。できるだけ早い段階でライブラリーに登載し各学校に配布できるようにいたします。

また、事務提要委員会では、会員の皆様のご意見・ご要望等を寄せていただくため、「め安箱」を協会のスマートページに設置しております。(スマートページ>G教育庁のフォルダにあります。)皆様、大いにご活用ください。

さらに、委員は多忙な本務の合間を縫って、多くは自分の時間を割いて活動しており各地区の地区委員の皆様にも鋭意ご協力をいただいております。加えて、事務提要委員会の編集等の活動に際しましてご協力いただきました関係機関や事務提要委員の皆様には大変感謝しております。

最後に、会員の皆様におかれましては、今後とも事務提要委員会へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ●情報委員会 (委員長 松尾 重治)

### 1 平成28年度の活動

今年度も、各地区での活動を中心に取り組みました。考えているように取組を進めることが出来なかったかもしれませんが、そのことを課題と捉えて今後の活動に活かしていきたいと思っております。

また、部共有フォルダの中にある「県立学校事務職員協会」は、その活用方法はすでに定着しているところであり、本部は勿論のこと、各地区や専門委員会等で利用されています。今後、その管理の方法が問題となりますが、委員会では意見交換を行いました。これらのデータは、日頃の活動の証が積み上げられたものであり、大切な財産でもあります。将来に向けてより良い管理の方法を検討し、提言したいと考えています。

また、昨年度も協会だよりでお願いしましたが、本協会のホームページは我々の活動を広く発信し、新たな交流の場となるように設けられたものです。その目的に応えられるような更新等が出来ていないかもしれませんが、会員の皆様には今まで以上に關心を寄せていただき、積極的な活用をお願いしたいと思っております。

### 2 活動状況

#### (1) 委員会の開催

ア 第1回 平成28年11月1日(火) 福岡リーセントホテル

- ・経過報告
- ・取組の状況について

- ・「部共有フォルダ」の見直しについて

イ 第2回 平成29年1月31日(火) (株)安川電機みらい館

- ・工場見学 「(株)安川電機ロボット工場」
- ・今年度の取組(経過報告及び情報交換)

(2) 地区活動の紹介

- ・筑後地区パソコン研究委員会の活動  
「パソ研メルマガ」等の配信

### 中堅事務職員研修会報告

開催日 平成28年11月25日(金)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

嘉穂高等学校 事務次長 田中 美由紀(開会式、講演)

開会式では、全国公立高等学校事務職員協会会長が、「上司と部下の関係作りが上手くいけば職場環境も良くなります。この研修がミドルリーダーとしての指導の在り方を考え学び、個々のスキルアップに繋がれることを願います」とのことでしたので、充実した研修にしようと思いました。

引き続き、株式会社マネジメントサポートの吉野有紀氏による「イクボス育成のススメ」～育成すべきは若手よりもミドルリーダーが先～と題して講演がありました。「イクボス」とは部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら組織の実績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことです。私には荷が重い気がしましたが、吉野氏は具体的でわかりやすい内容でした。現在は、中途採用や再任用が増え、年上の部下と仕事することも珍しくない社会となり、ハラスメントなど様々な問題もあるため、コミュニケーションが取りにくい環境となっています。そこで、人材育成の4本の柱を念頭に置きながら仕事を進めていくことで、ミドルリーダーとしてよりよい職場環境を築けるようになります。まず、OJTを4本柱の軸にして細かな指導を行います。日常業務OJTでは、毎日の仕事の中で繰り返し指導、支援します。課題型OJTでは、長期及び中期展望に立って課題を与え、部下の目標達成能力と問題解決能力の向上を図ります。それに加え、off-JT、自己啓発、ジョブローテーションの3本柱をプラスしていきます。off-JTとは職場外での研修のことです。受け身の研修になりやすいという短所もありますが、理論的・体系的な指導が出来ます。自己啓発では、継続するために強い意志が必要ですが、自分のペースやレベルに合わせた学習ができます。ジョブローテーションとは仕事をしながら新しい仕事を行うことです。仕事と育成のバランスが取りにくい短所がありますが、仕事をトータルに見られる人材を育成できます。

また、3つのビジネススキルとして、仕事に関する知識・技術を駆使するテクニカルスキル、対人関係を円滑に処理しリードしていくヒューマンスキル、複雑な状況の中での的確に物事をとらえるコンセプチュアルスキルを得ていくことにより、自分自身のスキルアップを図ることが出来ます。また、課題達成をめざし情報伝達を目的とした仕事志向コミュニケーション、人間関係の維持と強化を目的とする情緒的コミュニケーションの両バランスを揃えていくと、個人間のコミュニケーションを観察することが出来ます。

以上のような観点からミドルリーダーとしての指導の在り方を考えることで、自己信頼を取り戻し健全で自然な職場環境を作ることが出来るということを知りました。

ひびき高等学校 事務主査 梶野 哲広(グループ研修)

グループ研修は「育てる作法」と題し、(株)マネジメントサポート 吉野 有紀 氏を講師として行われました。1班6名毎に各テーブルに分かれ、8つのテーマについて、個人が考察し、その後、上司・先輩

役と部下・後輩役に分かれロールプレイング、ディスカッションを行い最後に講師が解説する方法で研修が進められました。

8つのテーマは、①「上司が職場のムードメーカーとなるべし」職場のムードを高めるために部下をタイムリーに褒める、名前の呼びかけ、挨拶、感謝・労いの言葉をかけることが重要。②「部下は褒めて育てるべし」仕事ぶりを日頃からよく観察して性格、持ち味、能力を仕事に落とし込んでちゃんと見ているというメッセージを送ることで安心感と信頼関係を構築する。③「叱る・注意も指導と考えるべし」信頼関係が築かれていれば、苦言も自分にとっては、克服したい前向きな課題と捉えられる。借しい・残念・悔しい等の言葉を使用すると問題点の改善の可能性が高く効果的に伝えられる。④「部下への課題は具体的な行動課題とすべし」提示する課題が抽象論やあるべき論ではなく、動ける行動課題か検証が必要。⑤「部下への質問は配慮すべし」質問が尋問や詰問とならないよう工夫が必要。⑥「部下へは定期的にガイダンスをすべし」定期的に面談機会をもつこと。⑦「マネージメントやリーダーシップを発揮するためには自己研鑽すべし」積極的に自己研鑽に努め半期に10冊はビジネス書を読む。⑧「部下はサイレントクレーマーと心得るべし」上司・先輩の指導に対して批判する部下・後輩はいないからこそ改善の必要がある問題として受け止めなければならない。

研修を通じて、褒めたり叱ったりするためには、日ごろから職場でのコミュニケーションを通じた信頼関係の醸成と他の人の仕事ぶりの観察が重要であることを改めて実感すると共に難しさを感じました。

また、常に自己を顧みて工夫と意識した行動をとることも必要だと感じました。

今回このような研修に参加させていただき、貴重な経験をすることが出来たことに大変感謝しています。研修の成果を今後の業務に活用したいと思います。

#### 新宮高等学校 事務主査 古賀 道緒 (グループ研修)

午前中の「イクボス育成のススメ」～育成すべきは若手よりもミドルリーダーが先～の講演を受けて、「育てる作法 10 の法則」と題し、部下(後輩)を指導する方法等を班別 12 グループに分かれ、事例演習が実施されました。

私の班は北は青森、南は沖縄までの30代～50代事務職員6名(男女各3名)で構成されていました。最初は自己紹介も含め、学校での担当業務や各職場での事務職員の構成(立場)などを話しました。部下(後輩)が5人もいる方がいて驚きました。また担当業務は支出や財産の担当の方が多かったです。

部下(後輩)の育成については、ペアを組み、先輩、後輩の役を交互に演じ、お互いの意見を台詞として述べる中で、それぞれの立場における接し方や感じ方などを学びました。

班で意見交換する中で青森では雪が10cm以上積もると生徒の登校前に業者が雪かきをする委託契約(※運搬トラック台数による単価契約)を結んでるなど、その土地ならではの話を直に聞くことが出来ました。

最後は講師の方への質問時間があり、終了予定時間をオーバーするほど活発に質問が出され、充実した研修となりました。

#### 久留米筑水高等学校 事務次長 栗木 伸子(文部科学省講話)

文部科学省講話では「当面の文部科学行政について」と題して、文部科学省初等中等教育局の視学官 望月 昌代氏の講話が行われました。

講話の内容は、初めに学習指導要領の改訂についてでした。高校では次期学習指導要領は平成34年の入学生から開始されます。子どもたちに、情報化やグローバル化など急激な社会的変化の中でも、未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に備えることのできる学校教育を実現するための改訂です。どんなに社会・産業が変わっても人間として求められることを視野に入れ、これからの時代に求められる知識や力とは何かを明確にし、教育目標に盛り込む。また、生きて働く知識や力を育む質の高い学習過程を実現するため、各教科における学びの特質を明確にするとともに、授業改善の視点を明確にし、これからの時代に求められる資質・能力を学校教育で育成していくことが重要である。主体的・対話的で深い学び

(アクティブ・ラーニング)を実現するためには、学習過程の質的改善として ICT 活用が効果的であり、次期学習指導要領実施に向けて早急に、普通教室の ICT 環境整備が必要であるとの内容でした。

次に、これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について(答申)の概要説明がありました。教育課程・授業方法の改革への対応、英語、道徳、ICT、特別支援教育等、新たな課題への対応、「チーム学校」の実現、社会環境の急速な変化、学校を取り巻く環境変化が背景にあり、教員公務員特例法の一部改正など様々な改革が実施されます。

さらに、高大接続改革について説明がありました。「高大接続改革」とは、大学入試改革も含まれているが、それだけではなく、「高等学校教育」と、「大学教育」、両者を接続する「大学入学者選抜」を、連続した1つの軸として、一体的に改革するものです。「高等学校教育」と「入学者選抜(大学入試)」は一緒に変わる必要があり、少子化・国際競争の進展の中で、大学教育の質的転換(しっかりと学ぶ大学教育へ)の実現のため改革が行われます。

最後に未来を担う子供たちのために「次世代の学校」の創世へ、教員改革(資質向上)、学校の組織運営改革(チーム学校)、地域からの学校改革(地域参画促進)の中教審3答申について話がありました。私たち事務職員は、チーム学校の一員として、予算の執行管理や、情報管理等、校長のマネジメントを支える重要な立場であること、そして午前中の講演で、新人・中堅・管理者ともヒューマンスキル(対人関係を円滑に処理しリードしていく能力)が大事との話があり、資質を向上しなければならないと感じました。今回このような研修に参加させていただきありがとうございました。



「<sup>し</sup>至<sup>そく</sup>足<sup>ゆう</sup>優<sup>ゆう</sup>游」

## 「—— いつの時も今が一番 ——」

宮本 成孝(元福岡県立直方高等学校参事兼事務長)

平成22年3月31日退職

## 【はじめに】

私は、退職後生活の信条として心掛けていることがいくつかあります。独断と偏見で恐縮ではございますが、皆様のお役に立てばとの思いから近況とともにその一端を紹介します。但し、該当しない向きにあつてはご容赦を願います。

## 1 適切な生活リズムを組み立てること

毎朝7時に起床し、いつもの朝食をゆっくりといただき、9時30分にはスポーツジムに通うため外出します。冷え込む朝などはつらいのですが、いざ起きてみると意外とシャキッとします。そして、自然に今日も精一杯がんばるぞという元気が湧いてきます。適切な生活リズムを保つことは、精神的にも大いに結構な事だと感じています。

## 2 健康増進に努めること

## (1) 食事や体調の管理

腹八分目の食事に徹し、高カロリー食や就寝3時間前の飲食は控えることとし、旅行中での食べ過ぎは帰宅後1週間程度で調整しています。なお、毎朝・夜に体重や血圧を測定・記録し、少しの体調の変化も感じ取ることが出来るように工夫しています。

## (2) スポーツジムでのトレーニング

週4日スポーツジムに通い筋肉や脳に刺激を与え、衰えてきた足腰を鍛え直しています。退職後7年間にわたる適度な筋肉トレーニングやストレッチを心掛けた結果、体重10kgの減量と健康的な体脂肪率を維持するに至っています。

## (3) ホームドクターや人間ドックでの定期的健診

月1回のホームドクターでの定期的健診で大まかな体の状態を承知し、年1回の人間ドックで臓器の内部を内視鏡等で検診しています。ごく軽度の狭心症の疑いや少し胃壁に炎症が確認される等年齢相応の症状はあるものの、このまま経過観察し見守るとのことでした。

## 3 国内や海外の旅行を計画・実施すること(何にも先んじてが肝心)

健康増進の最大の目的は、二人でいつまでも元気に旅行ができる体力を維持することです。おかげで、この7年間毎年海外旅行を1回、国内旅行を2回実施出来ています。

因に、今年度の海外旅行はオーストラリアのエアーズ・ロック、ケアンズそしてシドニーを7日間で訪問してきました。同国内の5ヵ所の世界遺産を巡ることが出来ましたが、欧州に比べ遙かに治安が良好で街角や路地裏も清潔に保たれており、今までの海外旅行で一番楽しく過ごすことが

できました。

#### 4 何事にも二人で参加し、感動を共にできる夫婦をめざすこと

我が家では婦唱夫随を旨としているのですが、実はスポーツジムも妻に勧められて参加したところでした。今ではジム通いが生活の根幹となり、健康増進のための絶好の場を得たと思っています。又、可能な限り二人でスーパーへの食材購入やデパートへのショッピングに出かけています。些でも共通の話題作りに努める事は、良好な関係を保持するために大切なことだと実感しています。

#### 【おわりに】

宮本家の生活信条4ヶ条は如何でしたか。一度っきりの人生、明るく、楽しく、そして幸せに生きることが何よりも大切なことです。これからも「いつの時も今が一番」と信じて日々これらを実践し、昨日を思い煩わず、明日を憂えず、今日を清く生きようと改めて肝に銘じたところです。

最後になりましたが、皆様方の今後益々のご活躍を心から願っております。頑張ってください。

